

国の交付金等を活用した事業について

基本目標4 「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

② 尾州テキスタイル産業のブランド化

「尾州テキスタイル産業のブランド化～人材発掘と育成・ものづくり・プロモーションのパッケージ化によるワンストップ支援事業～」

地方創生推進交付金関係（期間：平成28～32年度）

事業		平成29年度の実施内容
人材発掘・育成	① 地方創生発信型人材育成事業	首都圏でファッションを学ぶ学生を対象に、人材育成に関するコンシェルジュを発掘・育成し、尾州地域の企業の受入れ等、パッケージ化された各種支援制度の情報発信を行った。また、産地研修を受け入れ、自分たちでファッションショーを開催する等、産地について体験学習する機会を提供した。
	② 学生視察研修事業	市内高校のファッション創造科で学ぶ学生を対象に、東京展の見学や渋谷区の文化学園の学生との交流等を通じ、ファッション業界の最先端の動向や見識を深めさせ、次代を担う人材の意識醸成と育成を図る。
	③ 翔工房	ファッション系の専門学校生・大学生を対象に、学生が自らのデザインを具現化するため、長年繊維業界で活躍してきた民間事業者とコラボレーションし、生地づくりから製作に関わることで企画力を培い、次代を担う人材を育成した。
	④ 尾州の匠ものづくりリレー事業	尾州で繊維産業への就業を目指すファッション系大学生や専門学校生やその卒業生（概ね30歳未満の若者）を対象に、織布工場を借り上げて、長年繊維業界で活躍してきたテキスタイル製造工程の民間技術者との生地づくりの実践指導を通じ、後継人材の育成と定着を図った。
プロモーション・ものづくり	⑤ モノづくりプロジェクト事業	テキスタイルメーカーを対象に、アパレル・小売店等の企業に提案できるよう、企業の生地づくりを支援し、テキスタイルメーカーの新商品開発や販路開拓を推し進めた。
	⑥ 総合展及びヤーン展（商談会）開催事業	テキスタイルメーカーやアパレル・小売店等の企業、一般市民を対象に、尾州産地のものづくりや魅力を発信・商談する総合展及び糸を扱う企業の展示商談会を開催し、テキスタイルメーカーの新商品開発やヤーンメーカーの販路開拓を推し進めるとともに、市民の地場産業への愛着の醸成を図った。
	⑦ 東京展（商談会）開催事業	アパレル・小売店等の企業を対象に、ファッションとビジネスの中心である東京において、情報発信と販路拡大を推進するとともに、デザイナーとのマッチング事業など（一社）日本アパレル・ファッション産業協会（JAFIC）と連携した。
	⑧ 尾州生地と有名アパレルブランドとのマッチング	海外アパレルブランドを対象とし、主にイタリア等の海外アパレルブランドとの信頼関係を構築し、継続的な取引へと繋げることにより、尾州生地の販路拡大・ブランド力アップを図った。

事業		平成29年度の実施内容
プロモーション・ モノづくり	⑨ 尾州産地ブランド発信事業	首都圏で一般市民を対象に、発信力がある著名人（リバースプロジェクト等）との連携等により、新たなブランド・新商品の開発と発信を推進する。
	⑩ 産地アピール事業	一般市民を対象に、「尾州マーク」を活用し、独自のウェブサイトの構築やイベント等を実施し、一般消費者向けのプロモーションを実施した。
	⑪ 産業観光プロモーション調査研究事業	市内に多数残る「のこぎり屋根」の工場群や繊維にまつわる神社や建物等、地域・産業・建築上の重要な「産業遺産」として、または繊維産業により築かれてきた喫茶店のモーニング文化等を「文化遺産」と捉え、観光資源として活用する方策を調査・研究する。

地方創生推進交付金に関する重要業績評価指標（KPI）の実績値

指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
① 有名アパレルブランドと市内企業の契約件数 （単年度）	1件	2件			8件
② テキスタイル産業における人材育成事業受講者数 （平成28年度からの累計）	506人	1,091人			4,200人